

令和7年度 職場体験・就労体験(土) 年間カリキュラム

【ねらい】

- ①“働く”ということが、ということなのかを体感し理解してもらう。
- ②社会性の向上をはかる。
- ③自分の得意不得意を知り、将来に繋げてもらう。

【支援方針】

- ①子どもたちが将来に繋げられるような活動内容を模索し、様々な職場体験を提供する。
- ②取り組んだことに対する対価を提供し、働くことへのモチベーションを維持する。

	種目	目的・ねらい	身に付けてほしい力(5領域) ●健康・生活 ●運動・感覚 ●認知・行動 ●言語・コミュニケーション ●人間関係・社会性	※予想されること、◎注意点 (前年度の課題と今年度の改善策)
4月	第2週目 職場体験 第3週目 就労体験	○身だしなみへの意識や挨拶など、 社会人としての基本的なマナーを知る。	【健康・生活】 ○身体の基盤を整える。 ○基本的な生活スキルの獲得	○初めて“働く”を経験し、自分の苦手なことを認識したり、“働く”ことへのマイナスイメージを持ったりする。 ⇒活動意欲が下がらないように、できたこと、得意なことに焦点を当てた声かけを行う。 ○恥ずかしさや緊張から挨拶する声が小さい、言えないなど躊躇行動が出る。 ⇒まずは職員に対してできるようにしていく→次が相手に声が届かなくても声を出す→声量を少しずつあげていく(音量の目安を数字化するなど)・・・などスモールステップでサポートする。
5月				
6月				
7月				
8月		○“働く”ことを実際に体験し、理解を深める。 ○働くことの大切さや喜びを知り、達成感を味わう。	【運動・感覚】 ○姿勢保持 ○粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 【認知・行動】 ○五感の感覚や認知の活用。 ○知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ○概念の形成(数、大小、色など)。 ○場に適した行動ができるようになる。	○人前に立つことの苦しさから活動への意欲が低下する。 ⇒スモールステップで課題に取り組んでいき、成功体験を積めるようなサポートをする。
9月				
10月				
11月				
12月		○自分の得意なこと、苦手なこと、など自己理解を深め、将来について考えることができるようになる。	【言語・コミュニケーション】 ○言語の形成と活用。 ○受容言語と表出表現の増加。 ○人との相互関係によるコミュニケーション能力の向上。 ○コミュニケーションツールの開拓(指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等) ○読み書き能力の向上。 【人間関係・社会性】 ○アタッチメント(愛着行動)の形成。 ○模範行動の獲得。 ○感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ○一人遊びから協同遊びへの移行。 ○自己理解とコントロールができるようになる。 ○集団への参加。	○作業内容に慣れ、活動意欲が低下する。 ⇒各児童の得意なこと、好きなことを作業内容に組み込み、飽きないよう工夫をする。
1月				
2月				
3月				